

H30年 LPガス法事故発生状況

No.	発生年月日	市町村	現象	死亡	重傷	軽傷	発生場所	発生機器	原因者	事故原因	事故概要
1	H30.3.23	山陽小野田市	漏えい	0	0	0	集合供給の団地	埋設管(白ガス管)	住宅工事会社	確認不足	住宅工事会社がガス管の存在に気付かず、重機で敷地内を掘削して、LPガス供給管(20A白ガス管防食テープ巻)を損傷させ、LPガスが漏えいした。 当該工事業者から、販売事業者への事前連絡等はなかった。
2	H30.3.26	下関市	漏えい	0	0	0	共同住宅	埋設管(鋼管)	側溝の工事業者	確認不足	集合住宅前の歩道における側溝の新設工事の、工事業者が歩道を道路カッターで切断した際、埋設されていたLPガス供給管(50A外面被覆鋼管)を切断し、LPガスが漏えい。 切断された供給管は、もともと都市ガス供給管として埋設されていたが、LPガスへの切換え時にそのままLPガス供給管に転用されていた。 工事には、都市ガス事業者が立会していたが、集合住宅は都市ガスの供給先ではなくなっており、敷地外の供給管を切断しても問題ないと認識していた。
3	H30.4.7	下松市	漏えい爆発	0	0	0	一般住宅	燃焼器具	販売事業者	施工不良	賃貸住宅の入居者がビルトインコンロを使用したところ、漏えいしたガスに当該コンロの火が引火、爆発し、髪の毛が焦げた。 入居の2日前にLPガス販売事業者がビルトインコンロの修理を行った際、部品接続部へのリングを付け忘れており、そこはコンロ使用中でなければ漏えいしない箇所(電磁弁よりもバーナー側)であった。 修理後に漏えい試験は実施していたものの、バーナーに点火していない状態で実施したため、コンロ使用中に漏えいする状態であることに気付かなかった。
4	4月下旬 (覚知 H30.5.17)	宇部市	漏えい	0	0	0	幼稚園	埋設配管	一般消費者	確認不足	(速報ベース) ガスがなくなったとの幼稚園からの連絡を受け、LP販売事業者が現地を確認したところ、容器は全て空になっており、埋設配管(PE25A)に1mm程度の損傷があり、そこからガスが漏えいする状態であったことが判明した。 4月下旬に幼稚園職員が、マットを固定するための金属製アンカーを地面に打ち込んだ際に、埋設配管(深さ17cm程度)を損傷させたと推定。 この幼稚園は当時移転直後でありLPガス使用量が不明のため、漏えい量は不明。(貯蔵設備の容器は50kg×4本接続されていた。)
5	H30.5.30	下関市	漏えい	0	0	0	小学校	埋設配管	一般消費者	腐食	(速報ベース) 給食室がガス臭いとの小学校からの連絡を受け、LPガス販売事業者が現地を確認したところ、埋設配管の立ち上がり部からガス臭があり、埋設配管(白管テープ巻40A)からガスが漏えいしていると推定。 一般消費者の都合により掘削することができないため、それ以上の調査は行えていないが、腐食劣化による漏洩と推定。 露出配管の敷設により復旧した。